

# 教育部 目標

## 【概要】

教育部は、教育総務課・学校教育課・生涯学習課・公民館の4課で構成し、教育委員会の事務局、学校教育の推進、学校給食の充実、生涯学習・社会教育の振興、文化財の保存・活用、社会体育の振興に関する施策に取り組んでいます。

教育部の目標（令和4年度）	教育部長 平野 勉
<b>【基本方向】</b> 人と人との温かくつながり生涯にわたり学び健康で活躍できるまちをつくるため、教育環境を整備するほか、地域と連携し、ふるさとに愛着を持つ子どもの育成を図ります。 また、市民一人一人が健康で自由に学び続けることができる社会の実現を目指し、多様な機会及び情報の提供を図ります。	
<b>【達成すべき目標】</b> <b>1 安全安心な給食事業の推進</b> 学校給食費徴収・管理に関するガイドラインに基づき給食費の徴収・管理業務の公会計化を実施します。また、地産地消の取組を継続し、「富津市学校給食共同調理場基本設計」に基づき、新共同調理場建設事業を実施していきます。 <b>2 青堀小学校校舎等改築に向けた検討</b> 保護者や教職員、地域関係者等で構成する検討委員会での検討を踏まえ、改築の基本構想・基本計画を策定します。 <b>3 学ぶ場・生かす場の充実</b> 市民の学習活動の基礎となる図書館をイオンモール富津内に設置するため、開館に向けて準備を進めます。また、家庭教育指導員・支援員及び社会教育指導員を中心に家庭教育支援・地域学校協働活動を推進します。	<b>【目標の達成度】</b> <b>1 安全安心な給食事業の推進</b> 給食費の公会計化を実施しました。 また、学校給食において、地産地消の取組を継続し、年間を通して安定的な提供をしました。 新共同調理場の整備は、「富津市学校給食共同調理場整備基本設計」に基づき、計画的に進めました。 <b>2 青堀小学校校舎等改築に向けた検討</b> 計6回の検討委員会を開催し、改築の基本方針や配置計画等について検討を行いました。基本構想・基本計画については、施設整備スケジュールの見直しに伴い、引き続き検討委員会による検討を重ねた上で、次年度の策定を予定しています。 <b>3 学ぶ場・生かす場の充実</b> 富津市図書館整備基本計画に基づき、イオンモール富津内に図書館を整備しました。また、放課後ルーム・学習サポート会を通じて家庭教育支援・地域学校協働活動を推進しました。

#### 4 文化財保存・活用のための整備

鋸南町と共同で設置した鋸山日本遺産「候補地域」活用推進協議会で各種事業に取り組めます。また、市内の指定文化財拡充に向けた調査を進めます。

#### 4 文化財保存・活用のための整備

鋸南町と共同で設置した鋸山日本遺産「候補地域」活用推進協議会で、組織整備や人材育成・環境整備等、全12事業に取り組めました。また、指定文化財の拡充に向けた調査を実施しました。

# 教育総務課 目標

## 【概要】

教育総務課は、庶務係・施設係の2係7名で構成し、教育委員会会議、教育行政の施策総括、育英資金の貸与、教育財産の管理、学校施設の整備に取り組んでいます。

教育総務課の目標（令和4年度）	教育総務課長 中山 淳子
<b>【基本方向】</b> 教育委員会を適正に運営するとともに、学校を安全で快適な教育環境に整備し、適正に維持管理します。	
<b>【達成すべき目標】</b> <b>1 青堀小学校校舎等改築に向けた検討</b> 保護者や教職員、地域関係者等で構成する検討委員会での検討を踏まえ、改築の基本構想・基本計画を策定します。  <b>2 安全安心な学校環境の提供</b> 児童生徒、保護者や教職員の安全安心を確保し、快適で充実した教育が受けられるよう、環境整備に努めます。  <b>3 育英資金制度の見直し</b> 社会状況や他の施策との連携を踏まえ、若年層の定着に資する育英資金制度となるよう見直しを行います。	<b>【目標の達成度】</b> <b>1 青堀小学校校舎等改築に向けた検討</b> 計6回の検討委員会を開催し、改築の基本方針や配置計画等について検討を行いました。基本構想・基本計画については、施設整備スケジュールの見直しに伴い、引き続き検討委員会による検討を重ねた上で、次年度の策定を予定しています。  <b>2 安全安心な学校環境の提供</b> 各学校の要望等を踏まえ、児童生徒の安全面や学校運営上必要な修繕及び工事を優先的に実施し、施設の環境整備を図りました。  <b>3 育英資金制度の見直し</b> 教育に係る経済的負担の軽減を図るため、育英資金の貸与上限額を引き上げました。 次年度も引き続き、制度の拡充について検討します。

# 学校教育課 目標

## 【概要】

学校教育課は、学務係・教育センター・給食係・共同調理場の4係14名で構成しています。教職員の服務監督、児童生徒の健康安全に係わる事業や就学支援事業の展開、安全安心な給食の企画・運営等に取り組んでいます。

また、教育の実践指導、教育関係職員の研修、教育資料の収集及び作成、教育相談など教育振興上必要な事項に取り組んでいます。

学校教育課の目標（令和4年度）	学校教育課長 黒川 雅人
<b>【基本方向】</b> 子どもたちの生きる力と健やかな精神を育むため、健康安全に係る事業や就学支援事業を推進します。安全安心な給食事業に向け、給食費の徴収・管理業務の公会計化、新共同調理場建設を実施します。教職員の高い倫理観を継続させ、働き方改革を推進します。	
<b>【達成すべき目標】</b> <b>1 学校運営協議会の設置</b> 学校が保護者や地域住民と目標ビジョンを共有し、協働しながら子供たちの豊かな成長を支えていくため、コミュニティスクールモデル校を設置し、「地域とともにある学校づくり」を推進します。 <b>2 読書活動の推進</b> 学力向上推進事業として、児童・生徒の読書活動を推進するため、読書支援員を市内全小中学校に配置し、読書活動の推進、図書室や校内の読書環境整備、図書室と連携した学びを推進します。 <b>3 安全安心な給食事業の推進</b> 学校給食費徴収・管理に関するガイドラインに基づき給食費の徴収・管理業務の公会計化を実施します。また、地産地消の取組を継続し、「富津市学校給食協同調理場基本設計」に基づき、新共同調理場建設事業を実施していきます。 <b>4 授業改善の検討とICT教育の充実</b> 学力向上推進委員会を実施し、「読むこと」「書くこと」の指標の目標値達成に向けた取り組みを推進します。また、「主体	<b>【目標の達成度】</b> <b>1 学校運営協議会の設置</b> 本年度より、各中学校区に1校ずつ（青堀小・大貫小・天羽小）コミュニティスクールモデル校を設置し、学校の実態に応じて、3～5回の運営協議会を開催しました。今後、検証を重ね、市内全小中学校へ導入します。 <b>2 読書活動の推進</b> 読書支援員を市内全小中学校に配置することができ、読み聞かせや選書などの読書活動を推進しました。また、開架の工夫や掲示物作成など校内や図書室の環境整備を行いました。 <b>3 安全安心な給食事業の推進</b> 給食費の公会計化を実施しました。また、学校給食において、地産地消の取組を継続し、年間を通して安定的な提供をしました。新共同調理場の整備は、「富津市学校給食共同調理場整備基本設計」に基づき、計画的に進めました。 <b>4 授業改善の検討とICT教育の充実</b> 市内全小中学校で読書好きな子どもを増やすために「読書の日（5のつく日）」を設定し、広報活動等を行い推進

的・対話的で深い学び」を実現するため、授業改善について検討するとともに、ICT教育の充実に向けた研修を推進します。

しました。

また、タブレット端末を授業でより効果的に活用するため、研修を実施するとともに、情報提供に努めました。

# 生涯学習課 目標

## 【概要】

生涯学習課は、社会教育係・文化係・スポーツ振興係の3係11名で構成し、生涯学習・社会教育の振興、青少年健全育成、移動図書館・公民館図書室の運営、生涯学習バスの運行、文化財の調査・保護・活用、体育施設の管理・運営、社会体育関係団体の支援、スポーツ・レクリエーションの推進に取り組んでいます。

生涯学習課の目標（令和4年度）	生涯学習課長 樋口 峰昭
<b>【基本方向】</b> <p>市民一人ひとりが生涯にわたって学ぶことができ、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現を目指し、学習機会の拡充に努め、地域、学校、各種団体等と連携して事業を実施します。また、スポーツを楽しむ環境づくりを推進し、体力の維持向上・健康増進を図ります。</p>	
<b>【達成すべき目標】</b> <ol style="list-style-type: none"><li><b>1 学ぶ場・生かす場の充実</b><p>市民の学習活動の基礎となる図書館をイオンモール富津内に設置するため、開館に向けて準備を進めます。</p><p>また、家庭教育指導員・支援員及び社会教育指導員を中心に家庭教育支援・地域学校協働活動を推進します。</p></li><li><b>2 文化財保存・活用のための整備</b><p>鋸南町と共同で設置した鋸山日本遺産「候補地域」活用推進協議会で各種事業に取り組みます。</p><p>また、市内の指定文化財拡充に向けた調査を進めます。</p></li><li><b>3 体育施設の活用の促進</b><p>施設を管理している指定管理者と共同で利用の促進を図り、利用者の増加を目指します。</p><p>また、スポーツ推進委員等と連携してスポーツ行事の充実を図ります。</p></li></ol>	<b>【目標の達成度】</b> <ol style="list-style-type: none"><li><b>1 学ぶ場・生かす場の充実</b><p>富津市図書館整備基本計画に基づき、イオンモール富津内に図書館を整備しました。</p><p>また、放課後ルーム・学習サポート会を通じて家庭教育支援・地域学校協働活動を推進しました。</p></li><li><b>2 文化財保存・活用のための整備</b><p>鋸南町と共同で設置した鋸山日本遺産「候補地域」活用推進協議会で、組織整備や人材育成・環境整備等、全12事業に取り組みました。</p><p>また、指定文化財の拡充に向けた調査を実施しました。</p></li><li><b>3 体育施設の活用の促進</b><p>施設を管理している指定管理者と共同して市民の利用促進につながるプログラムを充実させることに取り組みました。</p><p>また、スポーツ推進委員等と連携して新たな軽スポーツを行うなど、スポーツ行事の充実を図りました。</p></li></ol>

# 公民館 目標

## 【概要】

公民館は、中央公民館係・富津公民館係・市民会館係の3係7名で構成し、公民館・市民会館の管理運営・社会教育事業に取り組んでいます。

公民館の目標（令和4年度）	公民館長 平野 隆志
<b>【基本方向】</b> 公民館は、地域住民の教育・コミュニティ活動の拠点の場として、市民が生涯を通じて楽しく学ぶことのできる充実した環境を提供します。 また、各施設の改修・改築に係る個別施設計画の策定に向けた検討を行います。	
<b>【達成すべき目標】</b> <b>1 各施設の改修・改築に係る個別施設計画の策定に向けた検討</b> 令和3年度に決定された「公民館のあり方」に基づき、各施設の改修及び改築に係る個別施設計画の策定に向けた検討を行います。  <b>2 学級・講座の充実</b> 次年度の計画をするにあたり、市民から意見を募集するため、館内に意見箱を設置します。 また、計画案を公民館運営審議会に諮り、意見をいただきます。  <b>3 富津市民文化事業「ふつつ学びの門」の開催</b> 隔年で開催している富津市民文化事業について、令和3年度の開催予定が新型コロナウイルス感染拡大により令和4年度に延期となったことから、引き続き円滑に運営できるように努めます。  <b>4 富津市民文化祭の開催</b> 文化祭参加者によって組織される文化祭実行委員会を主管とし、新型コロナウ	<b>【目標の達成度】</b> <b>1 各施設の改修・改築に係る個別施設計画の策定に向けた検討</b> 各施設の個別施設計画を策定しました。 今後は、「公民館改修計画」の策定などにより、施設整備の具体的な方針を決定していきます。  <b>2 学級・講座の充実</b> 意見箱を設置し、要望が多かった内容について検討し、次年度計画案に反映させました。 計画案は第3回公民館運営審議会（令和5年1月26日開催）で諮り、第4回会議（令和5年3月23日開催）で承認を受けました。  <b>3 富津市民文化事業「ふつつ学びの門」の開催</b> 開催延期にあたり、希望者へのチケット料返金などの対応をしました。 延期後の令和4年6月19日（日）に「千葉交響楽団バレンタインコンサート」を開催し、当日来場者数は315人でした。  <b>4 富津市民文化祭の開催</b> 10月28日（金）から10月30日（日）に富津公民館・埋立記念館・中央公民館・

イルスの対策をした上で開催できるよう企画運営のサポートを行うとともに、文化の普及・向上及び市民相互の交流を図ります。

## 5 成人式事業の開催

新たに20歳になる方々から実行委員を選出し、実行委員会を組織します。自ら作る式典に向けての活動の企画運営をサポートします。

市民会館・総合社会体育館で開催しました。

コロナ禍の影響で3年ぶりの開催となりましたが、活動を休止していた団体等も多く、出演・出展者数2,118人、来場者数9,126人でした。(コロナ以前:出演・出展者数約3,000人、来場者数約13,000人)

## 5 成人式事業の開催

成年年齢が18歳になったため、名称を従来の「成人式」から「二十歳の集い」に変更し、令和5年1月8日(日)、富津公民館ホールにて開催しました。

20歳になる方の家族等の来場人数は制限しませんでした。新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、招待者数を縮小しました。

新たに20歳になる方々による実行委員会を中心とし、厳粛な中にも温かみの溢れる式典を実施することができました。

当日、20歳対象者410人のうち、出席者数285人、出席率69.5%でした。